

# VOICE

【ヴォイス】

Vol. 10  
2015 SPRING  
March. April. May. June

VOICE  
特集

乳がんと闘い、女性のアイデンティティを守る  
乳腺科×形成外科のコラボレーション

診療科紹介／耳鼻いんこう科  
クローズアップ／脳卒中ってなに？  
RELAY MESSAGE／最新撮影装置を備え充実した画像診断  
From 高精度放射線治療センター  
連携クリニック／医療法人邦明会 榎原クリニック・医療法人隆明会 やぎクリニック  
My OFF Time／システム課 谷水 孝恵  
ほっ…Time／Happy Recipe「春キャベツとシラスのサラダ」  
おすすめDVD・お店  
INFORMATION／現役の米国救急医(通称:大リーガー医)が来阪中! 他

# 乳がんと闘い、女性のアイデンティティを守る 乳腺科×形成外科の コラボレーション



SATOKI WAKAMI

生死に関わり、さらに女性にとって大切な乳房を傷つけてしまう重大な疾患である乳がん。今や成人女性の約20人に1人の割合で罹患するとされ、罹患者数は年々増加傾向にあります。一方で検査および治療技術が格段に進歩し、早期発見と継続的な治療で充分克服しうる疾患でもあります。当院では適切な乳がんの治療に加え、乳腺科と形成外科によるコラボレーションにより、手術で形状が変わってしまった乳房を復元する乳房再建術にも取り組んでいます。この取り組みについて、乳腺科の森塚児外科部長と形成外科の若見暁樹形成外科部長にお話をうかがいました。

**日本における乳がんの現状と、当院の現状について教えてください**

森外科部長(以下森) 行政による健診制度が進み、またテレビ番組などで取り上げられることも多くなり、乳がんに対する意識が高まっています。乳がんは女性にとって大切な部位に関わる疾患ですから、以前は恥ずかしさから受診が遅れてしまうこともありましたが、

しかし、今はご自身で気をつけて病院に來られる例も増えてきています。さらにマンモグラフィ、エコー、そしてMRI等検査も多様になり、今までほとんど分からなかった小さながんも見つけることができ、早期発見の確率が上がっています。このように関心が高まるにつれて患者様からの要望も多様化しているように感じます。特に乳腺はデリケートな問題ですし、患者様は非常に高い関心をお持ちで、ご自身でたくさん調べ、勉強され、複数の病院で話を聞かれてから当院へ來られる方も増えました。このような現状をふまえ、本年度から丹羽英記院長、林原紀明医師、奥野潤医師とともに4名で乳腺科の診療にあたっています。

**どのような治療ですか？**

森 以前は乳房を全てとる手術が一般的でした。その後、乳房を温存しても予後が変わらないことが分かり、乳房温存術が広がりました。最近ではMRI等で、小さな病変や病変の広がり

が詳細に分かるようになり、術式も多岐にわたるようになりました。患者様の整容性に対する意識も高くなり、外科だけでは患者様のニーズに対応するのが難しくなってきました。若見形成外科部長(以下若見) そのため2011(平成23)年に新たに形成外科を設け、当院でも再建術を開始しました。

**再建術の取り組み、シリコンインプラントとは？**

若見 以前はがんを切除した後形成外科が関わるといふ流れでした。しかし今では手術の前、つまり治療に入った時から形成外科も関わり、いろいろな乳房の再建方法を提示して患者様が望む方法を選択していただける環境が

整っています。また、乳がんは長期の経過観察が必要な疾患なので、治療をベースに再建術の段階(ステップ)を組み立て、今後の治療に影響が少ない方法をとります。これは総合病院として2つの診療科が緊密に連携できるからこそその方法と言えるでしょう。乳房の大きさや形の個性、今後の治療、またこれからの患者様の生活によって選択肢はある程度限られてきますが、当院ではシリコンインプラントが行える点で選択肢に広がりがあります。シリコンインプラントは非常に見栄えが良くなる再建術です。以前はお腹や背中などご自身の組織を移植する方法を良しとする風潮がありましたが、患者様は形の良いきれいな乳房を作りたいと望まれることが多く、最近では半分以上がシリコ



ナトレルプレストインプラント  
日本人の乳房形状に多い上から下にかけて自然な膨らみ表現した  
アナトミカル形状 写真提供:アラガン・ジャパン株式会社

ンインプラントを希望されます。この術式は、施設基準に規定があり、どの病院でもできる手術ではありませんが、当院は基準をクリアし、保険適用内です。もちろん体内に異物を入れたくないという方もおられますので、それぞれのメリットとデメリットをきちんと説明したうえで選びたいと思っています。森 他病院で乳がん手術を受けて当院で再建術を受けていただいている方もいます。手術を受けた時点ではご本人に再建術の意思がなかったり主治医が勧めなかったりしても、時間が経つて要望される方もいらっしゃるのです。他病院から当院に移られてきた方には「こういう選択肢もありますよ」とご紹介しています。

**再建術は女性にとってどんな意味がありますか？**

若見 手術により乳房に傷をつけたり切除してそのままだと患者様の長い人生の中でQOL(生活の質)を落としてしまうことになりま

す。胸を気にして温泉旅行に行けない、水着になれない、胸にふくらみが無いとボディラインが出る服や襟の開いたデザインは着にくいという声も聞きます。乳がん手術は女性にとってアイデンティティを左右する重要なことであり、再建術は大きな希望だと思っています。

森 乳房再建の専門家である若見先生とタッグを組み、がん切除の手術の前から形成外科の先生の話聞いていただくことで乳房を

失う不安が和らぎ、また希望を見いだしていただくことができます。若見先生の診察で話を聞いて「頑張つて手術受けるわ!」と前向きに臨まれる患者様も増えてきて、精神面でも患者様にとって良い治療ができつつあると感じています。若見 再建術にはいろいろな方法があつて、ある程度患者様のご希望に添えるものです。乳がん手術をしても乳房を完全に失うわけではないので、安心して治療に臨んでください。森 乳がんと診断されると皆さん大きなショックを受けます。しかし、乳がんは他のがんに比べて治療が進んでいる領域です。女性としての大きなダメージを再建術でカバーしながら患者様にとってベストな治療をご提供しますので、遠慮なく何なりとご相談ください。



TAKUJI MORI

# クローズアップ

Close up!

## 脳卒中ってなに？



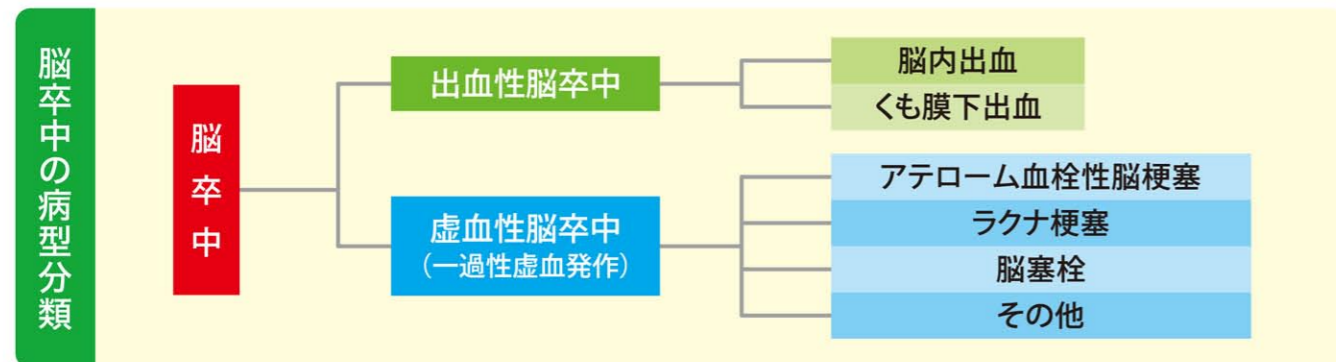
脳神経外科 副部長  
柳川 伸子 Nobuko Yanagawa

脳卒中で倒れた、脳梗塞だそうだとよく聞くけれど、どういう病気なのでしょう。今回は脳卒中について考えてみましょう。

脳卒中は脳の血管が詰まる(虚血性)か、破れる(出血性)かにより、その先に栄養が届かなくなり脳の神経細胞が障害される(死んでしまう)病気です。脳卒中の中で血管が詰まって起こるのが「脳梗塞」、破れて起こるのが「脳内出血」や「くも膜下出血」です。

「脳梗塞」は主に3種類のタイプに分かれます。  
①脳の太い血管そのものにアテローム(コレステロールのお粥の固まりのようなもの)ができて詰まる「アテローム血栓性脳梗塞」 ②脳の細い血管に動脈硬化が起こり、血管が詰まってしまふ「ラクナ梗塞」 ③心臓などにできた血栓が流れてきて脳の血管をふさいでしまふ「脳塞栓(心臓原因の時は心原性)」です。一過性虚血発作は脳梗塞の前触れ発作として大切です。出血するタイプの中で脳内出血は脳の中、くも膜下出血は脳を覆っている軟膜とくも膜の間(くも膜下腔)に出血が起こります。昔は脳内出血が多かったのですが、最近は脂質異常症や糖尿病が増えたために血管が詰まる脳梗塞が多くなっています。

それでは脳卒中を起こしたらどうなるのでしょうか。片側の手足のしびれや麻痺、呂律がまわらない、言いたいことが言えない、理解できない、ふらふらして歩けない、物が二重に見える、視野が欠ける、突然片目が見えなくなる、経験したことのない頭痛がするなどです。



このように脳の障害を受けた部分の働きができなくなることからいろいろな症状がでます。こうした症状がでたらすぐに病院へ行きましょう。

病院へ行くと、まず問診やいくつかの検査を受けます。その症状が脳卒中かどうかをはじめとしてそれらを総合して診断を確定、治療方針を決定します。治療方法には手術(脳血管にカテーテルという管を入れて血栓を回収、再出血予防のための脳動脈瘤頸部クリッピング術など)、内科的治療(tPA/血栓溶解療法や神経保護の点滴など)、リハビリテーション(よりよい機能回復のために早期に開始します)があります。早く受診することでtPA/血栓溶解療法や血栓回収療法が可能となり後遺症を少なくできる可能性があります。また、原因、重症度、発症からの時間および経過などにより同じ病名でも治療法が変わることがあります。一度この病気になると麻痺や言語障害などの後遺症が残ることが多いので、できれば予防したいですね。

では、何に気を付ければいいのでしょうか。脳卒中危険因子として指摘されているものに注意を払ってください。病気では高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動(不整脈)。生活習慣では大量飲酒、喫煙、運動不足、肥満が挙げられます。塩分控えめ腹八分、お酒は少量、よく歩き、心をゆったり持って生活をしてください。

## 診療科紹介

### 耳鼻いんこう科

#### 専門家としての知識をもとに チーム医療でより良い診療を目指す

耳や鼻、喉に関する症状は「放っておけば治る」と自己判断しがちです。しかし専門医の診療を受けてはじめて治るというケースも多いのです。当院には全国的にも珍しいめまいの専門家が常勤しています。今回は「日本めまい平衡医学会」の専門会員・相談医である角南貴司子医師に主にめまいについてお話をうかがいました。



耳鼻いんこう科 医長  
角南 貴司子 Kishiko Sunami

#### めまいの専門家が正しく診療

耳鼻いんこう科に来院される患者様の中には、めまいによる不快感を訴えられる方が多数いらっしゃいます。この主な原因として考えられるのが「良性発作性頭位めまい症」。本来は、内耳の前庭という場所にあるべき耳石(カルシウムの結晶)が剥がれ落ち、体のバランスを司る半規管にたまるのが原因です。頭を動かすたびにこの耳石が半規管内で動くため、感覚細胞を刺激しめまいを起こすのです。

治療は多くの場合、頭を動かしながら耳石を半規管から元の場所に戻す「浮遊耳石置換法」という処置を行います。また、症状により自宅での運動療法をアドバイスしたり詳細をプリントにまとめたり、より正しく理解していただけるよう努めています。もし頻繁にめまいを感じつつも診察を受けていない方がおられましたらぜひ一度検査を受けてください。早い対処であれば治るケースもあり、予防策も見つかります。

院内のチーム医療で迅速・丁寧な診察を  
当科では総合病院としての強みを活か  
し、神経内科との密な連携の下、チーム医  
療に取り組んでいます。めまいを感じ来院

される患者様の中には脳の支障を心配される方が多く、そういった方には神経内科で一度検査を受けていただいています。こうして専門医に診てもらったことで患者様の不安が取り除かれ、安心してめまいの治療に専念していただけるのです。

またその他に臨床検査部とも協力を図り、耳鼻いんこう科の外来には常に臨床検査部の医師を在籍させて患者様のご要望にすぐ対応できる体制を整えています。

#### 今の時期に多い花粉症やアレルギー性鼻炎の方の治療について

春先から初夏にかけて花粉症やアレルギー性鼻炎の方が急増します。基本の対処法はマスクの着用と室内に花粉を入れないことですが、仕事や生活に支障が出る方は我慢せずに薬の投与をお勧めします。従来に比べ最近の薬は眠くなりなく、研究・開発が進み副作用の少ないものが主流になっていきます。

慢性化している方は、冬の早い段階から処置すると良いでしょう。鼻の膜をレーザーで焼く手術であれば12月に、飲み薬と点鼻薬であれば2月頃から服用すれば春のつらい症状を軽くすることができます。一度ご相談ください。



# 最新撮影装置を備え 充実した画像診断

From  
放射線科

放射線科に來られる患者様からのご質問で「CT検査とMRI検査はどう違うの?」と聞かれることがあります。今では誰もが知る二つの検査ですが、画像ができる原理はさておき人体のどこを見るのに適しているかを分かっていただければ、納得して検査を受けていただけたらと思います。今回は、CT検査(コンピュータ断層撮影法:Computed Tomography)とMRI検査(磁気共鳴画像:Magnetic Resonance Imaging)についてご紹介いたします。

## 〈画像診断の中核をなすCT検査〉

CT検査の特徴としては、短い検査時間で体の広い範囲を簡単に検査することができます。骨や肺の観察、出血を疑う病変、結石の有無などには最適な検査と言えます。代表的な例として尿管結石



最新鋭の64列MDCTを2台設置

の診断にはCT検査が選択されます。

当院で行っているCT検査の一例を挙げますと、高脂血症や糖尿病などによる下肢の閉塞性動脈硬化症(ASO=arteriosclerosis obliterans)の診断目的で下肢動脈造影検査を行っています。上下肢の血圧比からASOを診断する



最新鋭のMRIを2台設置

図2

化を細かく撮像することで詳しく病変を知ることができます。頭部の血管画像は造影剤を使用することなく描出することができます。脳動脈瘤や脳梗塞の診断を行います。当院では、2台のMRI装置で検査を行っています。MRI検査は非常に強い磁場の力を利用してため、体内に金属がある場合は検査を施行できない場合があります(材質によっては検査可能な場合があります)ので担当者にお尋ねください。脳梗塞や脳内出血が起こった場合、片麻痺や言語障害、意識障害などの症状が認められます。頭部MRI検査では、発病後数時間で変化が分かるため、脳梗塞

の早期診断には極めて有用な検査です。図2は、頭部の血管を撮影した画像です。脳梗塞を発症しているため左の脳動脈(向かって右側)の血管が描出されていません。

図3は、拡散強調画像という撮像方法で急性期脳梗塞には非常に有用です。左の脳に白く描出されている部分が脳梗塞を発症しているところです。

当院では、脳梗塞を疑う場合は、24時間、MRI検査の対応を行っています。さらにマンモグラフィ検診施設画像認定を取得し、乳がん検査も行っております。

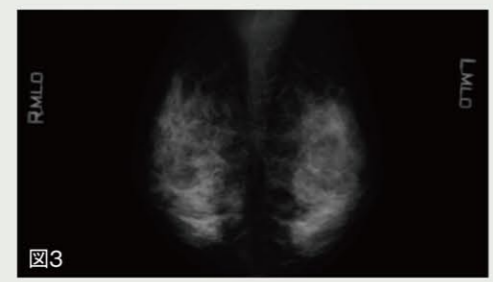


図3

## 〈マンモグラフィは 私たち女性技師が担当します〉

女性技師は撮影認定を取得し、年間約1,000件の撮影を行っています。現在では女性の約20人に1人は乳がんになると言われていますが、日本ではまだま

BI(ankle brachial index)や触診でASOが疑われる患者様に対し、造影剤を使用して血管の状態を調べるのが目的です。エコーやMRI検査と違って、血管の石灰化や狭窄がある血管内を細かく観察できるのが特徴です(図1)。ASOと診断して手術や血管内治療などの治療方針を決定するには欠かせない検査となります。



図1

## 〈急性期脳梗塞におけるMRI検査〉

MRI検査の特徴は、人体組織の変

だ乳がん検診を受ける人が少ない状況です。がんは早期発見・早期治療が大変重要です。私達は患者様を第一に考え、安全かつ丁寧で安心して検査を受けていただけるよう心がけています。女性の方では、ぜひ受診してください。※基本は女性スタッフが撮影しますが業務内容でできない場合があります。ご了承ください。



放射線科スタッフ



マンモグラフィ健診施設画像認定証

## 連携クリニック

## 医療法人邦明会 榎原クリニック

診療科目/内科、消化器科、循環器科、  
リハビリテーション科



かしはら しゅういち  
院長/榎原 秀一

昨年5月に複合医療ビル「邦明会ビル」が完成し、移転した榎原クリニック。同ビルのとみや歯科診療所(3F)と中尾こころのクリニック(4F)とともに多方面から患者様のサポートをされています。

同クリニックは、1998(平成10)年大正区で開院され、今年18年目を迎えられる、まさに地域の「かかりつけ医」。また、港区連携医師の塩見医師とエキスパートナース訪問看護ステーションとの連携により、在宅医療にも取り組まれています。

さらに榎原院長は、医療と介護連携支援センター・コーディネーターの確立もめざしておられます。

〒551-0001 大阪市大正区三軒屋西2-18-5 2F  
TEL:06-6556-1170 <http://www.houmeikai.or.jp/kashihara.html>

## 医療法人隆明会 やぎクリニック

診療科目/脳神経外科、内科、  
リハビリテーション科



やぎ たかし  
院長/八木 隆

「病気を治すと考えるのではなく、病気を防ぐ治療を中心に考えている」とおっしゃる八木院長。脳梗塞、認知症などの治療のみではなく生活習慣病を含めた全身管理を行い、病気の発症を予防し、未病を治療されています。そのため頭部CT装置をはじめ頸動脈エコー装置、脈派などの検査機器も充実。日常生活での加療により認知症や心筋梗塞、脳卒中が予防できることを患者様に訴えていきたいと熱い想いを語ってくださいました。

マラソン、テニス、乗馬にスキューバダイビングと多趣味の八木院長。オフタイムも充実し、常に新鮮な気持ちで診療されています。

〒552-0014 大阪市港区八幡屋1-11-10 シカタビル2F  
TEL:06-6599-1131 <http://yagiclinic.com/index.html>

## From 高精度放射線治療センター

## 看護師による治療中の定期面談について

現代のがん治療において、放射線治療は根治から症状緩和まで幅広い適応があります。しかし、患者様やご家族様の中には、放射線についてよく分からない、何となく怖い、などのイメージを抱き、放射線治療を受けることを躊躇されたり、不安に思われている方も多いのではないでしょうか。このような患者様やご家族様の不安を少しでも和らげるために、治療前だけでなく治療期間中も定期的に看護師による面談を行うことで、患者様の現在の体調やライフスタイルに応じたきめ細やかな指導を行っていくことが重要であると考えます。今回は、当センターで行っている放射線治療中の定期面談についてご紹介します。

## ■看護師定期面談で行っていること

放射線治療を受ける上で、治療中の副作用の発生は避けられませんが、日常生活に注意することで、症状を軽減したり、回復を早めたりすることができます。そのために看護師は、医師の診察とは別に定期面談を行い、患者様の日常生活習慣や健康状態、セルフケア能力を把握した上で、お一人おひとりに合った指導や介入を行い、患者様が安全・安楽に治療を完遂できるようにご家族様を含めサポートしています。

また当センター独自の取り組みとして、患者様自身が副作用の経過を少しでも理解しやすくなるよう定期面談時には「ケアマップ」というパンフレットを用いた指導を行っています。ケアマップとは、照射部位や疾患によってどのような副作用がどのような時期に生じやすいか、またその副作用の症状について日常生活の中でどのような点に注意して対処していけばよいかを1枚の表で示したものです。ケアマップを用いることで、患者様やご家族様が、治療経過を視覚的に把握し、看護師と一緒に確認や相談がより容易にできるようになっています。定期面談では、副作用以外の面でも、患者様やご家族様からの不安や疑問に出来る

限り対応しており、これまで治療を受けられた多くの方から、面談に対する満足の声をいただいています。

## ■最後に

放射線治療を受ける患者様が心の中に抱えている不安や葛藤は、計り知れないくらい大きなものだと思います。患者様が安心して治療を遂行できるよう、放射線治療中の身体のケアはもちろんのこと、患者様やご家族様の精神面の支えも含めて全力でサポートさせていただきますので、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。



看護師による治療中の定期面談の様子

## My OFF Time

マイ・オフタイム

このコーナーでは、先生方やスタッフのオフタイムについてインタビューします。



システム課

谷水 孝恵 Takae Tanimizu

フルマラソンの約2倍、およそ100kmもの距離を走るウルトラマラソン。過酷な競技にもかかわらず、近年徐々に愛好者が増えているそうです。実は当院のシステム課で働く谷水孝恵さんもその一人。ウルトラマラソンの魅力について、お話を伺いました。

ウルトラマラソンを始めたきっかけは？  
友人に勧められ、少しずつ走り始めたのが15年前。風を切って走るのが気持ちよく、マラソン仲間の練習に参加するようになりました。その後走る楽しさにはまり、フルマラソンの大会にも多々出場しました。そして5年前、マラソン歴10年を記念し、これまで以上に大きなことに挑戦したいとウルトラマラソンに出場しました。

実際に走ってみていかがでしたか？  
レースが始まると体がついていけず、ゴール直前で時間切れになり強制的に止せられました。「練習が足りなかった」との反省と悔しさが込み上げ、思わず帰りのバスの中で号泣しました。ですから、次の練習

からは気持ちを切り換えて、また一から練習に励みました。

ウルトラマラソンの魅力は何ですか？  
ゴールした時の達成感です。その瞬間は疲れが全て吹き飛び、なんとも言えない心地よさで満たされます。この感覚があるからこそ、100kmもの道のりを走れるのだと思います。

それと、給水所で出される軽食。私はタイムを競うよりも楽しく走りたいので、約100kmのコースを14時間15分くらいかけてゆっくり走ります。ですから、こうした道中で出される食事もしみの一つ。大会によっては地域の特産物を出してくるところもあります。

今後の目標は？  
最近はフルマラソン、ウルトラマラソンの他に、山道を走るトレイルマラソンにも取り組んでいます。来年は遠征を迎えるので、さらなるステップアップを目指して練習に励みたいですね。そして再来年には、富士山麓で行われる「ウルトラトレイル・マウンテンフジ」に挑戦したいと思っています。

## INFORMATION

## ■現役の米国救急医(通称:大リーガー医)が来阪中!

昨年10月から6か月間、現役の米国救急医(通称:大リーガー医)が来院し、診察のノウハウや問題解決のアプローチ法、ディスカッション、処置におけるコツなど様々な臨床を経験しています。この貴重な経験をもとに一層救急科の充実を図ってまいります。

なお本プロジェクトは、ERレジデント教育、日本型ERの構築、ER指導者の育成などを目的としています。大阪大学の関連病院教育の一環とし、大阪府下では当院を含め2病院が選ばれています。



来阪中の“大リーガー医”

## ■クリスマス・イベントを院内各所で行いました

当院のCS委員会では、月に1回40名近い人数の各部署代表(CS委員)が集まり、CS(customer satisfaction:患者満足度)向上のためのグループ討議を行っております。ここ2年のCS活動で、最もCS向上を実感できる企画が「CSクリスマス・イベント企画」です。

- 12月3日・12日に開催された「クリスマス院内落語」。昨年に続き大好評でした!
- 看護部主任たちによるハンドベル・コンサート。お集まりいただいた患者様のストレスが少しでも解消できれば、との想いが詰まっていました。
- 12月20日、10Fと12Fで開催したAquanoteさんによるアカペラコンサート。「入院しながらこんな聴けるなんて幸せ…」患者さまからうれしいお声もいただきました。
- 12月24日、入院療養中の患者さまお一人ずつにプレゼントをお渡ししました。実はサンタに扮していたのは、きつこう会 小川 嘉誉 理事長! 西村総看護部長とスタッフもお手伝い。患者さまの笑顔にスタッフ一同温かい気持ちになりました。



クリスマス院内落語



ハンドベルコンサート



アカペラコンサート



きつこう会 小川理事長がサンタクローズに!

## ほっ...Time

## Happy Recipe

ハッピーレシピ

今回のレシピ  
春キャベツとシラスのサラダ

栄養科 管理栄養士 石川 真美 Mami Ishikawa



## 低カロリーでボリューム満点! 簡単パスタ風サラダ



旬の春キャベツは柔らかく、甘みが強く、栄養も豊富です。キャベツをパスタに見立て、同じくこの時期旬のしらすと合わせ、低カロリーで食べ応えのあるサラダをご紹介します。

キャベツ、しらすに多く含まれるカルシウムは、強い骨や歯の形成、興奮や緊張を和らげるなどの効果があります。酢や柑橘類と一緒に摂ると、酸味が胃腸の消化液の分泌を促し吸収をより高めるといわれています。さらにしらすはカルシウムの吸収を助けるビタミンDも豊富に含まれています。推奨されている1日の野菜摂取量は300g。このサラダで2/3量を摂ることができます。繊維がしっかりと摂れるため、便通改善も期待できます。繊維とカルシウムで健康な強い身体を目指しましょう。

## 【春キャベツとシラスのサラダ】

●材料(1人前)/カロリー:約160kcal(1人前)

春キャベツ	200g
しらす	30g
卵黄	1個
焼きのり	適量
ポン酢	小さじ2

## ●作り方

- 1 春キャベツを1cm幅にザクザク切り、シリコンボウル(またはビニール袋)に入れ、600Wで3分レンジにかけます。
- 2 ①をお皿にのせ、上にしらす、卵黄を盛り付けて、ポン酢をまわしかける。
- 3 細切りにした焼きのりを散らして、出来上がり!

## 【Memo】

焼きのりを多めにかけることで風味が増し、少量のポン酢でもおいしく食べることができます。ピリ辛がお好きな方は七味をかけてもgood!

## ◎おすすめDVD From 企画室

## 『ショーシャンクの空に』

救急科部長/ICU部長 安部 嘉男

スティーブン・キングの小説「刑務所のリタ・ヘイワース」原作、1994年に公開されたアメリカ映画。冤罪によって投獄された有能な銀行頭取アンディーが腐敗した刑務所生活の中にあっても希望を捨てず生き抜いていくヒューマンドラマ。ロックハンマーで20年間、壁を掘り続けついに脱獄に成功する。運命の女リタ・ヘイワースのポスターの裏にぽっかりと開いた大きな穴。モーガン・フリーマン扮するレッドが40年間の服役生活ののち仮釈放され、陽炎に揺れるうねった坂道をポンコツバスで国境を超えるシーン。ラストシーンのジワタネホ海岸でのアンディーとの再会シーン、ワンシーン、ワンシーンの構図、挿入句が素晴らしい。秀作だと思います。

「ショーシャンクの空に」  
ブルーレイ ¥2,381+税 / DVD ¥1,429+税  
ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント



## ★スタッフのお気に入り

「体においしい食材」にこだわる  
イタリア料理店「みーとdeミート」

国産牛や無農薬野菜、有機野菜などのこだわり食材で作る安心・安全な料理が自慢。水はパスタのゆで汁に至るまで、体の自然治癒力を高めるといってFFC水を使うという徹底ぶりです。パスタは、モチモチの食感が楽しめる6種類の生パスタから好きなタイプを選んでいただけます。中でもほうれん草やかぼちゃの生パスタは女性に人気。季節限定で、さくら麺、ゆず麺も登場します。

みーとdeミート  
大阪市大正区三軒家東1-18-9  
TEL. 06-6555-9080  
定休日 月曜日  
営業時間  
ランチ 11:30~15:00  
ディナー 17:30~23:00



ミートソースはトマトなどの野菜と牛肉の旨味がしっかり味わえるやがめやのデザート

## ■多根保育園 園児たちのクリスマス作品を展示しました！

当院では、子育てをしながら看護師の仕事もできるよう院内にて多根保育園を運営し、ママさん看護師をサポートしています。

今回クリスマスに合わせ、3F売店前に「園児によるクリスマス・アート」を展示しました。売店は、職員も患者さまもよく利用される場所なので、たくさんの人に見ていただけたと思います。無機質になりがちな病院内に、このような心温まる作品展示があると、とても癒されると患者さまにも好評でした。



園児によるクリスマス・アート

## ■大阪府の大規模災害訓練に参加しました

本誌VOICE Vol.8 (2014年SUMMER)の特集でもご紹介しましたDMATが、1月20日に開催された大阪府の大規模災害訓練に参加しました。

今回は、府内災害拠点病院DMAT、滋賀県・京都府・兵庫県DMATが参加する大規模な訓練で、陸上自衛隊、大阪市消防局、八尾市消防本部、八尾空港事務所、西日本高速道路とも合同で行われました。また、今回は「マグニチュード9.1の南海トラフ巨大地震（海溝型）が休日の9時30分に発災した」という想定シチュエーションのもと訓練が行われました。当院は災害拠点病院であり、なおかつ湾岸エリアに近く立地しておりますので、上記のような大地震の際に津波被害を受けた地域の救助活動をする上での参集拠点になる可能性があります。今回は、来るべきそのときのためのかなり実践に近い訓練でした。



訓練中の当院DMATスタッフ

## ■「待合いセミナー～ためになる豆知識～」がスタートしています

患者さまの外来の待ち時間を有効活用していただくために、昨年8月、2階エスカレーター前で「待合いセミナー」がスタートしました。月曜日から金曜日の午前11時から20分間、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症や認知症予防、放射線治療、がんに関する治療や痛み、救急医療、薬、栄養など医療に関する内容を毎日違うテーマで開催しています。みなさん奮ってご参加ください。



セミナー会場

### 社会医療法人 きつこう会

- 理念** 愛を原理とし、秩序を基礎とし、進歩を目的とす。
- 方針** 質の高い継続的な全人的医療を展開し、患者様に信頼される病院を目指す。
- 活動目標**
- 1.安全性  
医療行為で患者様が害を受けることがあってはならない
  - 2.有効性  
患者様に恩恵とならない医療サービスを提供しない
  - 3.患者様中心志向  
個々の患者様の意思を尊重し患者様の要望に応える医療を提供する
  - 4.適時性  
待ち時間など診療の遅れをなくす
  - 5.効率性  
医療におけるあらゆる無駄を排除する
  - 6.公平性  
患者様によって医療の質が異なってはならない
- これらの目標を、職員、患者様、ご家族が一体となって推進する

### なんでもQ&A

- 病院にかかりたいのですが、医療費が心配です。  
当院では1階に患者様相談窓口を設置しています。医療費に関する心配や退院後の療養の不安など、専門のソーシャルワーカー（医療相談員）がご相談に応じています。
- がんに関するアドバイスを受けたいのですが。  
当院は大阪府がん診療拠点病院に指定されています。院内にがん相談支援センターを設けていますので、ご本人はもちろん、ご家族のがんに関することなど幅広く相談していただけます。

多根総合病院は大阪府がん診療拠点病院です。  
がんや緩和ケアに関するお問い合わせ、  
ご相談は『がん相談支援センター』まで

### 編集後記



今回の記念すべきVOICE10号の表紙は、正面玄関入ってすぐの「プラタナスひろば」のイラストです。ここで使われている壁面緑化の緑の葉っぱですが、本物の葉っぱです。決まった時間に水が流れて枯れない仕組みになっています。定期的にメンテナンスを行い、クリスマスの時期には赤い葉っぱに付け替えているのです。多根総合病院では、少しでも患者様に癒しの空間を味わっていただくために自然を取り入れています。お時間があればぜひご自分の目でお確かめください。 企画室広報課